

番号	23	令和8年度公共事業再評価調書				担当課名	砂防課																											
事業名	急傾斜地崩壊対策事業				事業主体	静岡県																												
ふりがな	くつのや				関係市町	静岡市																												
箇所名	沓谷																																	
事業採択年度	平成24年度		計画期間	平成24年度～令和9年度																														
用地着手年度	平成25年度		工事着手年度	平成26年度																														
再評価理由※	再評価実施(R3)後5年間の経過した時点で継続中																																	
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～R6年度	R7年度	R8年度見込	計																												
	619		425	54	70	549																												
事業概要	(1) 事業目的 当該地区の斜面は、荒廃が進行し、豪雨等による斜面崩壊の危険性が高いため、災害時要援護者を抱える大規模医療施設と保全人家の人命保護を目的とし、待ち受け擁壁を設置する。																																	
	(2) 事業内容 全体延長 489 m 擁壁工 489 m																																	
【視点1】	(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化 平成26年台風第18号の豪雨により、法面から土砂が人家敷地に流出し、地元住民の不安を増幅させており、早期の事業執行が望まれている。 前回事業評価した後の令和4年度からこれまでに静岡市内では86件の土砂災害が発生している。 当該地区では、がけ崩れの発生により、人家、市道、要配慮者施設等に被害が及ぶことが懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備する必要がある。																																	
事業の必要性	(2) 事業の投資効果 ○費用便益分析結果 (令和8年度時点)																																	
	<table><tr><td>B/C (i=4%)</td><td>参考:B/C (i=2%)</td><td>参考:B/C (i=1%)</td><td colspan="4">EIRR</td></tr><tr><td>19.7</td><td>33.2</td><td>45.0</td><td colspan="4">34.8%</td></tr></table>							B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR				19.7	33.2	45.0	34.8%																
	B/C (i=4%)	参考:B/C (i=2%)	参考:B/C (i=1%)	EIRR																														
	19.7	33.2	45.0	34.8%																														
	・総便益(B) 97.2億円 (平均便益: 5.49億円)																																	
・総費用(C) 5.0億円 (建設費: 4.91億円、維持管理費: 0.04億円、用地残存価値: 0.07億円)																																		
○見込まれる効果(定性的な効果) ・がけ崩れによる基大な被害の防止																																		
(3) 事業の進捗状況 (令和8年度見込み)																																		
<table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>進捗率</td><td colspan="4">内 訳</td></tr><tr><td colspan="2">事業費</td><td>88.7%</td><td colspan="4">(549 百万円 / 619 百万円)</td></tr><tr><td>事業量</td><td>擁壁工</td><td>91.8%</td><td colspan="4">(449 m / 489 m)</td></tr><tr><td colspan="2">用地取得</td><td>100.0%</td><td colspan="4">(2,901 m² / 2,901 m²)</td></tr></table>							区 分		進捗率	内 訳				事業費		88.7%	(549 百万円 / 619 百万円)				事業量	擁壁工	91.8%	(449 m / 489 m)				用地取得		100.0%	(2,901 m ² / 2,901 m ²)			
区 分		進捗率	内 訳																															
事業費		88.7%	(549 百万円 / 619 百万円)																															
事業量	擁壁工	91.8%	(449 m / 489 m)																															
用地取得		100.0%	(2,901 m ² / 2,901 m ²)																															
<table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																										
評価	継続が妥当																																	
【視点2】	(1) 今後の事業の進捗の見込み 用地取得が完了しており、地元住民・地権者に事業反対者もないため、可能な限り事業進捗を早め、早期の事業完了を目指したい。																																	
<table><tr><td>評価</td><td>継続が妥当</td></tr></table>							評価	継続が妥当																										
評価	継続が妥当																																	
【視点3】 新たなコスト削減・代替案立案等の可能性	軟弱地盤対策について良質置換土工法にして、工事費の軽減を図るとともに、工事用道路を受益者から無償提供について承諾を得るなど、既にコスト削減策を講じており、現計画で事業進捗を図りたい。																																	
対応方針(案)	(1) 対応方針(案) 本事業を 【 継続 】 する。 (2) 理由 本事業は、急傾斜地の崩壊による被害を未然に防止するものである。近年、県内でも基大な土砂災害が発生しており、地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。																																	

A detailed topographic map of the Sagami Slope Landslide Hazard Area in Shizuoka City. The map shows contour lines indicating elevation, with a red circle highlighting the specific hazard area. Key locations labeled include '至清水区' (To Shimizu-ku) at the top, '蓮永寺' (Ren'eiji Temple), '市立東中学校' (Shiritsu Higashi Junior High School), '静岡市街' (Shizuoka City Center) at the bottom left, '静岡学園高等学校' (Seiō Gakuen Senior High School), '静岡学園中学校' (Seiō Gakuen Junior High School), and '観音神社' (Kannon Shrine). A road is labeled '主要地方道静岡清水線 (北街道)' (Main Prefectural Road Shizuoka-Shimizu Line (North Street)). An inset map in the top left corner shows the location of the study area within the larger context of Shizuoka Prefecture, with a red dot marking the '窪谷急傾斜地' (Sagami Steep Slope Land). A compass rose is located in the top right corner.

平面図

全体計画 擁壁工 L=489m

L=127m (H29~H31) L=161m (H24~H28) L=62m (R4~5) L=43m (R7) L=56m (R8) L=40m (R9)

標準横断面図

2000 崩壊土砂防護壁 H=2.9m 2900 7000 F1 F2 Sw As DL=15.00 1934

事業目的
 沓谷地区は、静岡市葵区に位置し保全対象に人家25戸及び病院を含む急傾斜地である。
 当該地区の斜面は荒廃し、豪雨等によるがけ崩れの発生により甚大な被害が懸念されるため、急傾斜地崩壊防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。

事業内容
 箇所名：沓谷（静岡市葵区沓谷）
 事業費：619百万円
 計画期間：平成24年度～令和9年度
 全体延長：489m
 事業内容：擁壁工 延長489.0m

主な保全対象
 （～R7保全完了+保全残）
 ■人家25戸
 （□11戸+■14戸）
 ■第一駿府病院

【凡例】
 □R7まで整備完了
 ■R8整備完了予定
 ■R9以降施工予定
 □急傾斜地崩壊危険区域
 □被害想定範囲

3. 事業概要

前回からの変更点・理由

区 分	前回 (R4)	今回 (R8)	主な変更理由
①計画期間	H24～R8	H24～R9 (+1年)	所有者の特定が困難な未相続地が多く確認され、境界立会及び用地交渉に時間を要したため。
②全体事業費	422百万円	619百万円 (+197)	狭小部において施工中の安全面に優れる工法（高エネルギー吸収柵）を採用したため。 人件費・資材及び土砂処分費高騰のため。

4. 事業の投資効果（費用便益比）

事業の投資効果（費用対効果の検証）

総便益（B）

総便益 9.72億円

- ☐ 直接被害
 - ・家屋被害、道路被害、人的被害
- ☐ 間接被害
 - ・精神的被害

総費用（C）

総費用 4.95億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果(B/C):19.65 経済的内部収益率(EIRR):34.8%

前回の費用対効果(B/C):12.3

・「砂防事業の費用便益分析マニュアル」の改定に伴い、人的被害額の精神的損害額が2.26億円/人⇒6.01億円/人に上げられたため

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

- ・工事の停滞、進捗遅延を回避するために、広範囲かつより綿密な地元調整に努める。
 - ・建設発生土の有効活用を検討し、事業費の縮減に努める。
-